

2020年10月6日

次亜塩素酸パウダーQ&A

Q1.どんなものに使えますか。

A1.「動物や植物、食品、電子機器」以外のものに使用できます。

・食器類：まず通常の食器用洗剤で汚れなどを落とします（汚れを落とさずに使用すると除菌効果は著しく低下します）。スプレー用の希釈濃度（水道水 500mL に対し 1 包）で作った除菌水に 1～3 分ほど付け置きし、除菌水が表面に残らないようよくすすいで下さい。尚、素焼きの食器や陶磁器は、長時間付け置きすると食器内に成分が浸透してしまいます。浸透した成分が食品へと移り、経口摂取することになる可能性があるため、長時間の付け置きはおやめ下さい。

・テーブルなど：表面の汚れを布巾などで綺麗にしてから、スプレー用の希釈濃度で作った除菌水をスプレーしてください。

・ソファ・布・衣類など：目立たない部分に吹きつけ、色落ちがないことを確認してから、スプレー用の希釈濃度で作った除菌水をスプレーして下さい。一部に大量に吹き付けると、色落ちする可能性があります。

・生ゴミなどの消臭：スプレー用の希釈濃度で作った除菌水を、匂いのする空間へ向けて噴霧してください。臭気の発生源が残った状態での空間の消臭は一時的な効果ですので、匂いの発生源を処分することをおすすめします。

・空間除菌：規定濃度で作った除菌水を加湿器のタンクに入れ、通常と同じように使用してください。

・吐瀉物の処理：吐瀉物に触らないように処理し、吐瀉物が触れた面にタオルペーパーなどを敷き、スプレー用の希釈濃度で作った除菌水を染み込ませて 5～10 分ほど置いてください。

Q2.スプレーで使用する場合、どうやって使用したらよいですか。

A2.水道水 500mL に対し、1 包を入れてよく溶かしてください。溶ける前に使用すると、濃度の不均一が生じ、効果・安全性に問題が出る可能性があります。吹き付けるものの表面は、前もって布巾などで汚れを取って下さい。汚れた部分に吹き付けてしまうと、除菌効果が著しく低下します。また、スプレー用の除菌水は濃度が高くなるよう設定してあります。加湿器の除菌水よりも強力な除菌水となっており身体へ影響を与える可能性があります。人や動物へ向けて直接スプレーすることはおやめ下さい。

Q3.次亜塩素酸ナトリウムや次亜塩素酸水とは違うのですか。

A3.次亜塩素酸ナトリウムは、液体状の殺菌用食品添加物で、本品とは製造方法、原料、物性ともに異なります。次亜塩素酸水も同様に食品添加物として認可を受けているものの

み使用が許可されている名称で、本品とは製造方法、原料が異なります。本品は、次亜塩素酸ナトリウムや次亜塩素酸水とは原材料が異なるため食品添加物としての認可は受けていません。除菌効果は、有効成分と pH から弱酸性次亜塩素酸水と同等と考えられます。

Q4.人体への影響はあるのですか。

A4.この製品は、第三者機関による安全性試験を実施しており、実施した試験条件では悪影響は確認されず、無刺激性と判断されています。ただし個人差がありますので、少しでも具合が悪く感じた際は使用を中止し、医療機関を受診して下さい。

Q5.アルコールとの除菌方法の違いはなんですか。

A5.アルコールも次亜塩素酸除菌水も、細胞の細胞膜や細胞質膜に作用して殺菌します。ただ、アルコールでは芽胞菌に対して効果を発揮できませんが、次亜塩素酸は芽胞菌にも効果があると言われていています。また、各種細菌やウィルスの薬剤耐性は、芽胞菌＞ウィルス、結核菌＞糸状細菌＞一般細菌、酵母様真菌とされています。

参考 健栄製薬ホームページ

<https://www.kenei-pharm.com/medical/countermeasure/microbe/08.php>

Q6.どのように保管したらよいですか。

A6.粉末のものは直射日光・高温多湿・水分を避け、他の薬品と混ざらないように保管してください。水溶液にしたものは、直射日光・高温を避けて保管してください。

Q7.どれくらいの期間で使い切ったら良いですか。

A7.規定の保管条件においては、粉末の状態なら3年間保管できます。水溶液にしたものは3ヶ月程度を目安に、なるべく早く使い切ってください。試験条件では、3ヶ月間で約140ppmから約100ppmまで濃度が低下することがわかっています(100ppmでも除菌効果は確認されていますのでご使用頂けます)。噴霧器の場合は、濃度が低いため長くても1週間程度を目安に使い切ってください。噴霧器・スプレーに関わらず、規定期間を過ぎても残った溶液は、廃棄して新しく作り直してください。

Q8.濃度を間違えて除菌水を作ってしまったが、どうしたらよいか。

A8.濃度を間違えて作ってしまった場合は使用せずに多量の水で流し、規定の濃度で作り直してください。当社で規定している濃度と異なる濃度で使用していた場合、健康被害が発生したとしても責任は負いかねます。

Q9.間違って水溶液や粉末を飲んでしまった場合、どうしたらよいですか。

A9.吐かせず口の中をすすぎ、水または牛乳を飲ませて医師の診察を受けてください。医療機関を受診した際は、本品にジクロロイソシアヌル酸ナトリウムと無機塩が使用されていること、水に溶かすと次亜塩素酸が生成すること、どのような状況で飲んでしまったか等を詳しく伝えて下さい。本品を持参して頂くことをおすすめします。

Q10.水溶液や粉末が目に入ってしまったのですが、どうしたらよいですか。

A10.目に入った場合は、すぐに流水で15分以上洗浄し、眼科医に相談して下さい。また、コンタクトをしている場合で容易に外すことが出来る時は外して洗浄し、外せない場合はそのまま洗浄を続けて医療機関を受診して下さい。粉末が付着したコンタクトは再使用しないで下さい。医療機関を受診した際は、本品にジクロロイソシアヌル酸ナトリウムが使用されていること、水に溶かすと次亜塩素酸が生成すること、当時の使用状況等を詳しく伝えて下さい。本品を持参して頂くことをおすすめします。

Q11.どうして動物や植物、食品、電子機器には使用してはいけないのですか。

A11.動物に対しては、試験条件においては安全が確認されていますが、その時の状況や個人差によって影響が出る可能性がありますので、直接スプレーを吹きかけたりすることはおやめください。

食品に対しては、食品添加物としての許認可を受けていませんので使用しないで下さい。

電子機器については、直接噴霧や水滴が付くような場合は腐食する可能性があります。噴霧器で空間除菌している空間で、直接水滴が付いたりしない状況であれば問題ありません。

Q12.加湿器で使用する場合、どうやって使用したらよいですか。

A12.水道水4Lに対し、2包を入れてよく溶かしてください。溶ける前に使用すると、濃度の不均一が生じ、効果・安全性に問題が出る可能性があります。また、室内の有効塩素濃度が極端に高くなることを防ぐ為に、8時間を目安に換気を行ってください。加湿器本体は、数日～1週間を目安に掃除して下さい。除菌パウダーを入れずに使用することはおやめ下さい。レジオネラ菌等が繁殖し、健康に甚大な被害を与える可能性があります。また、加湿器を使用し続けていると、水道水中のミネラル分が析出し、白い粉吹きのような状態になることがあります。こうした場合はブラシでよく擦り落とし、水で流して使用して下さい。析出物が超音波振動子の部分に溜まると、うまく作動せず霧化効果が小さくなる可能性があります。

Q13.他の加湿器でも使えますか。

A13.本製品専用・対応の噴霧器を使用してください。「次亜塩素酸対応」と書いてある同じような加湿器でも他製品はタンクの容量が異なることがあるため、除菌水の濃度が当社規定のものと異なってしまう可能性があります。また他の加湿器での動作確認は行っておりません。もし当社規定の加湿器以外の加湿器を使用して何らかの問題が生じて、当社では責任を負いかねます。

Q14.電子機器に影響はあるのですか。

A14.空間噴霧状況では問題ありません。ただし、機器表面に水滴が付く程度の相対湿度になると、粉吹きが生じたり、金属の腐食が進む可能性がありますので、状況によって噴霧量を調整してください。直接スプレーすることはおやめください。

Q15.小さな子供や高齢者がいるのですが、使用しても大丈夫ですか。

A15.安全性試験を実施した状況では問題ないことが確認されています。高齢者、新生児や乳児の居るご家庭で初めてご使用になる際は、様子を見ながら問題ないことを確認して下さい。異常がある場合は、すぐに使用を中止して医師の診察を受けてください。噴霧器から出るミストには、直接触ったり、吸い込んだりしないでください。

Q16.水以外のものに溶かしても大丈夫ですか。

A16.水以外のものとは混ぜないでください。また、使用する際は必ず水道水をご使用下さい。また、水道水であっても、浄水器を通した水は使用をお控え下さい。ペットボトルで販売されているミネラルウォーターや、井戸水、海洋深層水、天然水として販売されているものもお控え下さい。もし使用した場合、いかなる状況となっても当社では責任を負いかねます。

Q17.除菌水・粉末が皮膚に付いてしまったのですが、どうしたらよいですか。

A17.水道水でよく洗い流し、付いた部分に異常が出ていないか確認してください。もし赤み・腫れ・痛み等の異常が見られた場合、すぐに医療機関を受診して下さい。医療機関を受診した際は、本品にジクロロイソシアヌル酸ナトリウムが使用されていること、水に溶かすと次亜塩素酸が生成すること、使用時の状況等を医師に伝えて下さい。(Ziameの液性は弱酸性です)

Q18.次亜塩素酸を使った除菌水は pH によって効果が変わるのですか。

A18.次亜塩素酸を使った除菌水は、pH によって次亜塩素酸の存在形態が変化し、それに伴って効果が変化します。

・pH が 12~14 のものは、その強いアルカリ性により殺菌・洗浄を行います。この pH

域では、次亜塩素酸は次亜塩素酸イオンとして存在しています。

・pH が 7~5 の中性~弱酸性のものは、次亜塩素酸の細胞への作用により殺菌を行います。アルカリ域に比べると洗浄作用は高くありません。この pH 域では、次亜塩素酸は次亜塩素酸分子として存在しています。

・pH が 2 付近のものは、ほとんどの次亜塩素酸は塩素ガスとして存在し、強い腐食作用を持ちます。腐食作用はそのまま殺菌作用といえますが、効果が強すぎるため人体や電子機器に悪影響を及ぼします。

本品は中性~弱酸性に設定されています。

Q19.塩素臭がして気分が悪いのですが。

A19. 気分が悪くなった場合はすぐに使用を中止して換気を行い、安静にして様子を見てください。改善しない場合はすぐに医療機関を受診してください。医療機関を受診した際は、本品にジクロロイソシアヌル酸ナトリウムが使用されていること、水に溶かすと次亜塩素酸が生成すること、使用時の状況等を医師に伝えて下さい。

気分が悪くならないよう、噴霧量を調整し、こまめに換気を行ってください。

塩素臭は、次亜塩素酸がきちんと空間に放出されていることを表します。本品は次亜塩素酸除菌水をそのまま放出する機構であるため、多少は塩素臭がすることになります。

Q20.他社品との違いは何ですか。

A20.パウダータイプで保管できる期間が長いこと、軽くて扱いやすいこと、収納に場所を取らないことです。次亜塩素酸を使った除菌水は、現在液体タイプのもものが主流となっており、多く流通しています。液体タイプは原液を希釈して使用するものが多いですが、液体のため重い、場所を取る、pH が高いと危険で扱いにくい等の欠点があります。また液体の方が分解速度は速いため、保管期間が半年程度に設定されているものがほとんどです。パウダータイプのものは直射日光・水分を避ければ安定で、3年間にわたって一定の効果が期待できます。

Q21.どのようなウイルス・細菌に効果がありますか。

A21.身近に存在する菌やウイルスに対して効果を期待できます。

具体例) 大腸菌、インフルエンザ A 型、ネコカリシウイルス (ノロウイルス代替)、黄色ブドウ球菌 (追加)

コロナウイルスに関しては試験ができないので効果があるかわからない

Q22.花粉や PM2.5 には効果がありますか。

A22.本品は除菌・消臭を目的として開発されたものですので、花粉や PM2.5 を除去する機能はありません。

ただし、除菌・消臭と同様の機構でアレル物質の不活化は可能です。

参考 アレルゲン不活化試験結果報告書

Q23.喫煙環境でも使用できますか。

A23.噴霧器でのご使用は、噴霧器本体へ悪影響を与える可能性がありますのでお控え下さい。スプレーはご使用頂けます。

Q24.次亜塩素酸パウダーをたくさん入れれば、より高い効果が得られますか。

A24 必ず規定量で使用してください。パウダーをたくさん入れると濃度が高くなり、健康に悪影響を及ぼすおそれがあります。当社で規定している濃度と異なる濃度で使用していた場合、健康被害が発生したとしても責任は負いかねます。

Q25.車に使用しても大丈夫ですか。

A25. シートなどの布部分へは可能です。目立たない場所に吹きかけ、色落ちしないか確認してからご使用下さい。エンジンルームやメーター機器類などへの噴霧はしないでください。

Q26.犬や猫に直接スプレーしても大丈夫ですか。

A26. ウサギやラットに対する眼刺激性、皮膚刺激性試験では無刺激性と判断されていますが、人や動物に直接スプレーすることは推奨していません。

Q27.弱酸性次亜塩素酸水と次亜塩素酸ナトリウムの除菌効果の違いは？

A27. pH が低い次亜塩素酸水の方が、除菌効果は高いとされています。

Q28. 弱酸性次亜塩素酸水とアルカリ電解水の違いは？

A28. アルカリ電解水の主成分は、濃度によっては劇物に指定される水酸化ナトリウム（苛性ソーダ）の低濃度水溶液で、次亜塩素酸水とは異なります。アルカリ電解水は pH が高いため、油脂やたんぱく質を乳化・けん化して洗浄する効果があります。次亜塩素酸は油脂やたんぱく質などに触れると分解されてしまう性質があるため、それを防ぐために先にアルカリ電解水で汚れを洗浄し、その後次亜塩素酸水で除菌すると効果的です。（次亜塩素酸は酸化作用による除菌、水酸化ナトリウムは乳化分解作用による洗浄が目的と考えるとよい）

Q29.使用期限は書いてありますか。

A29. パウチに使用期限を記載しています。（製造月から3年）

Q30.Ziame の液性は何ですか。

A30.弱酸性です。pH は第三者機関による測定では 6.7 です。

参考 pH・有効塩素濃度測定結果（化学物質評価研究機構）

Q31.Ziame は中性付近でも効果はありますか。

A31.中性付近でも除菌効果が認められています。除菌効果の試験の際、試験の都合上精製水（pH 7 付近）を使用していますが、大腸菌に対して即時的な効果が認められています。ウィルス不活化試験についても、試験の都合上精製水を用いています。

また、pH6.9 で 140ppm の Ziame は、pH8、200ppm の次亜塩素酸ナトリウムの約 2.2 倍の除菌効果があると考えられています。

Q32.Ziame はホルムアルデヒドですか？

A32.ホルムアルデヒドではありません。

Q33.Ziame は第 4 級アンモニウム塩ですか？

A33.第 4 級アンモニウム塩ではありません。

Q34.Ziame は塩素ですか？

A34.塩素ではありません。

Q35.Ziame は塩素系薬剤ですか？

A35. 次亜塩素酸は塩素を含む化合物ですので、塩素系薬剤に該当すると考えられます。

Q36.Ziame は有毒化学物質ですか？

A36.実施した試験条件では、毒性は認められていません。また、毒劇物や危険物にも指定されていません。

Q37.Ziame は消毒剤ですか？

A37.消毒剤ではありません。

Q38.感染症予防になりますか？

A38.本品は感染症予防を目的としたものではありません（医療機器・医薬品ではない）。感染症の予防には、手洗い・うがい、換気、人と適切な距離を取る事等が重要とされています。これらを行った上、追加の対策としてご使用ください。